

《教会と信徒》

3. 「信徒が働く」といってもねえ？

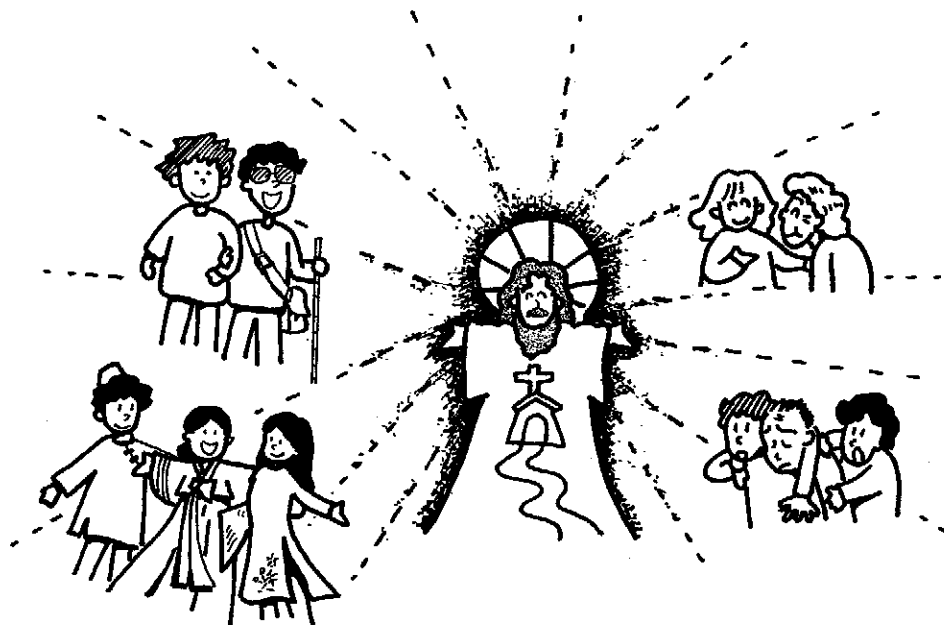
信徒が働くといっても、いったい何をやるのだろうか、と思う人もいるかもしれません。今までの教会は、司祭やシスターが中心になってすべてが動いてきたので、信徒が乗り出してくるのはよくないと考えたり、あるいは最近の司祭の減少に対応するため信徒が肩代わりをしなければならない、と考えたりする人もあるかもしれません。

しかし本来、信徒奉仕職とは決してそのようなものではありません。信徒には信徒独自の役割があつて、それを生かすために、今までの教会や信徒についての狭くかたよった考え方を改めようということから、強調されるようになってきたのです。

◇分かち合いのテーマ◇

* 教会(小教区など)の中で、司祭の役割になっているもの、信徒の役割となっているものをあげてみてください。

その中で、司祭にしかできないものはどれですか？ また、信徒ならではの働きとしてどんなことがありますか？



メモ: _____
